

# 総目次

グラビア

発刊によせて

河辺村長

稲田 秀一

## 第一編 自然環境

第一章 河辺村の自然	21
第二章 生物	23
38	

## 第二編 歴史

第一章 河辺村の夜明け	67
第二章 奈良 平安 鎌倉時代	77
第三章 徳川幕府時代	133
第四章 近代	227

## 第三編 行政・財政

第一章 行政の変遷	255
第二章 村政	277
第三章 財政	289
第四章 厚生	310
第五章 保健衛生	330
第六章 治安と消防	343
第七章 土木	349
第八章 選挙	360
第九章 兵事	364
第十章 広報	372

## 第四編 産業・経済

第一章 農業	375
第二章 林業	401

# 第一編 自然環境

第三章 商工業・交通運輸	416
第四章 通信・情報	423
第五編 観光	427
第一章 新しい河辺村の観光	429
第六編 教育・宗教・文化財	449
第一章 明治以後の教育	451
第二章 社会教育	484
第三章 神社・寺院	502
第四章 文化財	522
第七編 民俗	535
第一章 河辺村の風俗	537
第二章 年中行事	564

第三章 河辺村の村並み	571
第四章 伝説	576
第五章 地名の起源と解説	614
第六章 方言	618
第八編 人物	625
第九編 年表	639
年号索引	640
年表	641

新刊河辺村誌編纂委員会 名簿  
 村誌編纂を終えて  
 新刊河辺村誌編纂委員会 事務局 本竜 拙宗  
 長岡 盛光  
 表見返し 三嶋神社例祭の図  
 裏見返し 河辺村歴史・文化地図

目次

第一章 河辺村の自然	23
第一節 位置・面積	23
第二節 人口	25
第三節 地形・地質・地層	29
第四節 気候と天災	31
一 気候	31
二 自然災害	33
第二章 生物	38
第一節 動物	38
一 陸生動物	38
二 水生動物	43
第二節 植物	46
一 概要	46
二 河辺村の植物	53

第二編

歷史

目次

第一章 河辺村の夜明け	67
第一節 河辺村の開拓史	67
第二節 農耕の起源	69
第二章 奈良 平安 鎌倉時代	77
第一節 奈良時代	77
第二節 平安時代	78
第三節 鎌倉時代	86
第四節 室町時代	93
第三章 徳川幕府時代	133
第一節 藩政時代	133
一 徳川幕府の起りからその体制	133
二 大洲藩の政治体制	137
三 大洲藩主脇坂安治	142
第二節 明治時代	227
一 藩政時代の百姓の苦悩	211
二 産業と生活による騒動	214
三 交換作物と農民生活	215
四 換金作物への目覚め	215
五 殿様時代の衣食住と経済	221
六 交換作物	225
第三節 昭和時代	240
第四節 平成時代	247
第四章 近代	227
第一節 明治時代	227
一 藩政時代の百姓の苦悩	211
二 産業と生活による騒動	214
三 交換作物と農民生活	215
四 換金作物への目覚め	215
五 殿様時代の衣食住と経済	221
六 交換作物	225
第二節 大正時代	238
第三節 昭和時代	240
第四節 平成時代	247
五 大洲藩勤王派へ急転	207
六 大洲藩の騒動史	211
七 藩政時代の百姓の苦悩	211
八 産業と生活による騒動	214
九 交換作物と農民生活	215
十 換金作物への目覚め	215
十一 殿様時代の衣食住と経済	221
十二 交換作物	225
十三 明治時代	227
十四 藩政時代の百姓の苦悩	211
十五 産業と生活による騒動	214
十六 交換作物と農民生活	215
十七 換金作物への目覚め	215
十八 殿様時代の衣食住と経済	221
十九 交換作物	225
二十 昭和時代	240
二十一 平成時代	247
二十二 大洲藩勤王派へ急転	207
二十三 大洲藩の騒動史	211
二十四 藩政時代の百姓の苦悩	211
二十五 産業と生活による騒動	214
二十六 交換作物と農民生活	215
二十七 換金作物への目覚め	215
二十八 殿様時代の衣食住と経済	221
二十九 交換作物	225
三十 明治時代	227
三十一 藩政時代の百姓の苦悩	211
三十二 産業と生活による騒動	214
三十三 交換作物と農民生活	215
三十四 換金作物への目覚め	215
三十五 殿様時代の衣食住と経済	221
三十六 交換作物	225
三十七 昭和時代	240
三十八 平成時代	247
三十九 大洲藩勤王派へ急転	207
四十 大洲藩の騒動史	211
四十一 藩政時代の百姓の苦悩	211
四十二 産業と生活による騒動	214
四十三 交換作物と農民生活	215
四十四 換金作物への目覚め	215
四十五 殿様時代の衣食住と経済	221
四十六 交換作物	225
四十七 明治時代	227
四十八 藩政時代の百姓の苦悩	211
四十九 産業と生活による騒動	214
五十 交換作物と農民生活	215
五十一 換金作物への目覚め	215
五十二 殿様時代の衣食住と経済	221
五十三 交換作物	225
五十四 昭和時代	240
五十五 平成時代	247
五十六 大洲藩勤王派へ急転	207
五十七 大洲藩の騒動史	211
五十八 藩政時代の百姓の苦悩	211
五十九 産業と生活による騒動	214
六十 交換作物と農民生活	215
六十一 換金作物への目覚め	215
六十二 殿様時代の衣食住と経済	221
六十三 交換作物	225
六十四 明治時代	227
六十五 藩政時代の百姓の苦悩	211
六十六 産業と生活による騒動	214
六十七 交換作物と農民生活	215
六十八 換金作物への目覚め	215
六十九 殿様時代の衣食住と経済	221
七十 交換作物	225
七十一 昭和時代	240
七十二 平成時代	247
七十三 大洲藩勤王派へ急転	207
七十四 大洲藩の騒動史	211
七十五 藩政時代の百姓の苦悩	211
七十六 産業と生活による騒動	214
七十七 交換作物と農民生活	215
七十八 換金作物への目覚め	215
七十九 殿様時代の衣食住と経済	221
八十 交換作物	225
八十一 明治時代	227
八十二 藩政時代の百姓の苦悩	211
八十三 産業と生活による騒動	214
八十四 交換作物と農民生活	215
八十五 換金作物への目覚め	215
八十六 殿様時代の衣食住と経済	221
八十七 交換作物	225
八十八 昭和時代	240
八十九 平成時代	247
九十 大洲藩勤王派へ急転	207
九十一 大洲藩の騒動史	211
九十二 藩政時代の百姓の苦悩	211
九十三 産業と生活による騒動	214
九十四 交換作物と農民生活	215
九十五 換金作物への目覚め	215
九十六 殿様時代の衣食住と経済	221
九十七 交換作物	225
九十八 明治時代	227
九十九 藩政時代の百姓の苦悩	211
一百 産業と生活による騒動	214
一百零一 交換作物と農民生活	215
一百零二 換金作物への目覚め	215
一百零三 殿様時代の衣食住と経済	221
一百零四 交換作物	225
一百零五 昭和時代	240
一百零六 平成時代	247
一百零七 大洲藩勤王派へ急転	207
一百零八 大洲藩の騒動史	211
一百零九 藩政時代の百姓の苦悩	211
一百一十 産業と生活による騒動	214
一百一十一 交換作物と農民生活	215
一百一十二 換金作物への目覚め	215
一百一十三 殿様時代の衣食住と経済	221
一百一十四 交換作物	225
一百一十五 明治時代	227
一百一十六 藩政時代の百姓の苦悩	211
一百一十七 産業と生活による騒動	214
一百一十八 交換作物と農民生活	215
一百一十九 換金作物への目覚め	215
一百二十 殿様時代の衣食住と経済	221
一百二十一 交換作物	225
一百二十二 昭和時代	240
一百二十三 平成時代	247
一百二十四 大洲藩勤王派へ急転	207
一百二十五 大洲藩の騒動史	211
一百二十六 藩政時代の百姓の苦悩	211
一百二十七 産業と生活による騒動	214
一百二十八 交換作物と農民生活	215
一百二十九 換金作物への目覚め	215
一百三十 殿様時代の衣食住と経済	221
一百三十一 交換作物	225
一百三十二 明治時代	227
一百三十三 藩政時代の百姓の苦悩	211
一百三十四 産業と生活による騒動	214
一百三十五 交換作物と農民生活	215
一百三十六 換金作物への目覚め	215
一百三十七 殿様時代の衣食住と経済	221
一百三十八 交換作物	225
一百三十九 昭和時代	240
一百四十 平成時代	247
一百四十一 大洲藩勤王派へ急転	207
一百四十二 大洲藩の騒動史	211
一百四十三 藩政時代の百姓の苦悩	211
一百四十四 産業と生活による騒動	214
一百四十五 交換作物と農民生活	215
一百四十六 換金作物への目覚め	215
一百四十七 殿様時代の衣食住と経済	221
一百四十八 交換作物	225
一百四十九 明治時代	227
一百五十 藩政時代の百姓の苦悩	211
一百五十一 産業と生活による騒動	214
一百五十二 交換作物と農民生活	215
一百五十三 換金作物への目覚め	215
一百五十四 殿様時代の衣食住と経済	221
一百五十五 交換作物	225
一百五十六 昭和時代	240
一百五十七 平成時代	247
一百五十八 大洲藩勤王派へ急転	207
一百五十九 大洲藩の騒動史	211
一百六十 藩政時代の百姓の苦悩	211
一百六十一 産業と生活による騒動	214
一百六十二 交換作物と農民生活	215
一百六十三 換金作物への目覚め	215
一百六十四 殿様時代の衣食住と経済	221
一百六十五 交換作物	225
一百六十六 明治時代	227
一百六十七 藩政時代の百姓の苦悩	211
一百六十八 産業と生活による騒動	214
一百六十九 交換作物と農民生活	215
一百七十 換金作物への目覚め	215
一百七十一 殿様時代の衣食住と経済	221
一百七十二 交換作物	225
一百七十三 昭和時代	240
一百七十四 平成時代	247
一百七十五 大洲藩勤王派へ急転	207
一百七十六 大洲藩の騒動史	211
一百七十七 藩政時代の百姓の苦悩	211
一百七十八 産業と生活による騒動	214
一百七十九 交換作物と農民生活	215
一百八十 換金作物への目覚め	215
一百八十一 殿様時代の衣食住と経済	221
一百八十二 交換作物	225
一百八十三 明治時代	227
一百八十四 藩政時代の百姓の苦悩	211
一百八十五 産業と生活による騒動	214
一百八十六 交換作物と農民生活	215
一百八十七 換金作物への目覚め	215
一百八十八 殿様時代の衣食住と経済	221
一百八十九 交換作物	225
一百九十 昭和時代	240
一百九十一 平成時代	247
一百九十二 大洲藩勤王派へ急転	207
一百九十三 大洲藩の騒動史	211
一百九十四 藩政時代の百姓の苦悩	211
一百九十五 産業と生活による騒動	214
一百九十六 交換作物と農民生活	215
一百九十七 換金作物への目覚め	215
一百九十八 殿様時代の衣食住と経済	221
一百九十九 交換作物	225
二百 明治時代	227
二百零一 藩政時代の百姓の苦悩	211
二百零二 産業と生活による騒動	214
二百零三 交換作物と農民生活	215
二百零四 換金作物への目覚め	215
二百零五 殿様時代の衣食住と経済	221
二百零六 交換作物	225
二百零七 昭和時代	240
二百零八 平成時代	247
二百零九 大洲藩勤王派へ急転	207
二百一十 大洲藩の騒動史	211
二百一十一 藩政時代の百姓の苦悩	211
二百一十二 産業と生活による騒動	214
二百一十三 交換作物と農民生活	215
二百一十四 換金作物への目覚め	215
二百一十五 殿様時代の衣食住と経済	221
二百一十六 交換作物	225
二百一十七 明治時代	227
二百一十八 藩政時代の百姓の苦悩	211
二百一十九 産業と生活による騒動	214
二百二十 交換作物と農民生活	215
二百二十一 換金作物への目覚め	215
二百二十二 殿様時代の衣食住と経済	221
二百二十三 交換作物	225
二百二十四 昭和時代	240
二百二十五 平成時代	247
二百二十六 大洲藩勤王派へ急転	207
二百二十七 大洲藩の騒動史	211
二百二十八 藩政時代の百姓の苦悩	211
二百二十九 産業と生活による騒動	214
二百三十 交換作物と農民生活	215
二百三十一 換金作物への目覚め	215
二百三十二 殿様時代の衣食住と経済	221
二百三十三 交換作物	225
二百三十四 明治時代	227
二百三十五 藩政時代の百姓の苦悩	211
二百三十六 産業と生活による騒動	214
二百三十七 交換作物と農民生活	215
二百三十八 換金作物への目覚め	215
二百三十九 殿様時代の衣食住と経済	221
二百四十 交換作物	225
二百四十一 昭和時代	240
二百四十二 平成時代	247
二百四十三 大洲藩勤王派へ急転	207
二百四十四 大洲藩の騒動史	211
二百四十五 藩政時代の百姓の苦悩	211
二百四十六 産業と生活による騒動	214
二百四十七 交換作物と農民生活	215
二百四十八 換金作物への目覚め	215
二百四十九 殿様時代の衣食住と経済	221
二百五十 交換作物	225
二百五十一 明治時代	227
二百五十二 藩政時代の百姓の苦悩	211
二百五十三 産業と生活による騒動	214
二百五十四 交換作物と農民生活	215
二百五十五 換金作物への目覚め	215
二百五十六 殿様時代の衣食住と経済	221
二百五十七 交換作物	225
二百五十八 昭和時代	240
二百五十九 平成時代	247
二百六十 大洲藩勤王派へ急転	207
二百六十一 大洲藩の騒動史	211
二百六十二 藩政時代の百姓の苦悩	211
二百六十三 産業と生活による騒動	214
二百六十四 交換作物と農民生活	215
二百六十五 換金作物への目覚め	215
二百六十六 殿様時代の衣食住と経済	221
二百六十七 交換作物	225
二百六十八 明治時代	227
二百六十九 藩政時代の百姓の苦悩	211
二百七十 産業と生活による騒動	214
二百七十一 交換作物と農民生活	215
二百七十二 換金作物への目覚め	215
二百七十三 殿様時代の衣食住と経済	221
二百七十四 交換作物	225
二百七十五 昭和時代	240
二百七十六 平成時代	247
二百七十七 大洲藩勤王派へ急転	207
二百七十八 大洲藩の騒動史	211
二百七十九 藩政時代の百姓の苦悩	211
二百八十 産業と生活による騒動	214
二百八十一 交換作物と農民生活	215
二百八十二 換金作物への目覚め	215
二百八十三 殿様時代の衣食住と経済	221
二百八十四 交換作物	225
二百八十五 明治時代	227
二百八十六 藩政時代の百姓の苦悩	211
二百八十七 産業と生活による騒動	214
二百八十八 交換作物と農民生活	215
二百八十九 換金作物への目覚め	215
二百九十 殿様時代の衣食住と経済	221
二百九十一 交換作物	225
二百九十二 昭和時代	240
二百九十三 平成時代	247
二百九十四 大洲藩勤王派へ急転	207
二百九十五 大洲藩の騒動史	211
二百九十六 藩政時代の百姓の苦悩	211
二百九十七 産業と生活による騒動	214
二百九十八 交換作物と農民生活	215
二百九十九 換金作物への目覚め	215
三百 殿様時代の衣食住と経済	221
三百零一 交換作物	225
三百零二 明治時代	227
三百零三 藩政時代の百姓の苦悩	211
三百零四 産業と生活による騒動	214
三百零五 交換作物と農民生活	215
三百零六 換金作物への目覚め	215
三百零七 殿様時代の衣食住と経済	221
三百零八 交換作物	225
三百零九 昭和時代	240
三百一十 平成時代	247
三百一十一 大洲藩勤王派へ急転	207
三百一十二 大洲藩の騒動史	211
三百一十三 藩政時代の百姓の苦悩	211
三百一十四 産業と生活による騒動	214
三百一十五 交換作物と農民生活	215
三百一十六 換金作物への目覚め	215
三百一十七 殿様時代の衣食住と経済	221
三百一十八 交換作物	225
三百一十九 明治時代	227
三百二十 藩政時代の百姓の苦悩	211
三百二十一 産業と生活による騒動	214
三百二十二 交換作物と農民生活	215
三百二十三 換金作物への目覚め	215
三百二十四 殿様時代の衣食住と経済	221
三百二十五 交換作物	225
三百二十六 昭和時代	240
三百二十七 平成時代	247
三百二十八 大洲藩勤王派へ急転	207
三百二十九 大洲藩の騒動史	211
三百三十 藩政時代の百姓の苦悩	211
三百三十一 産業と生活による騒動	214
三百三十二 交換作物と農民生活	215
三百三十三 換金作物への目覚め	215
三百三十四 殿様時代の衣食住と経済	221
三百三十五 交換作物	225
三百三十六 明治時代	227
三百三十七 藩政時代の百姓の苦悩	211
三百三十八 産業と生活による騒動	214
三百三十九 交換作物と農民生活	215
三百四十 換金作物への目覚め	215
三百四十一 殿様時代の衣食住と経済	221
三百四十二 交換作物	225
三百四十三 昭和時代	240
三百四十四 平成時代	247
三百四十五 大洲藩勤王派へ急転	207
三百四十六 大洲藩の騒動史	211
三百四十七 藩政時代の百姓の苦悩	211
三百四十八 産業と生活による騒動	214
三百四十九 交換作物と農民生活	215
三百五十 換金作物への目覚め	215
三百五十一 殿様時代の衣食住と経済	221
三百五十二 交換作物	225
三百五十三 明治時代	227
三百五十四 藩政時代の百姓の苦悩	211
三百五十五 産業と生活による騒動	214
三百五十六 交換作物と農民生活	215
三百五十七 換金作物への目覚め	215
三百五十八 殿様時代の衣食住と経済	221
三百五十九 交換作物	225
三百六十 昭和時代	240
三百六十一 平成時代	247
三百六十二 大洲藩勤王派へ急転	207
三百六十三 大洲藩の騒動史	211
三百六十四 藩政時代の百姓の苦悩	211
三百六十五 産業と生活による騒動	214
三百六十六 交換作物と農民生活	215
三百六十七 換金作物への目覚め	215
三百六十八 殿様時代の衣食住と経済	221
三百六十九 交換作物	225
三百七十 明治時代	227
三百七十一 藩政時代の百姓の苦悩	211
三百七十二 産業と生活による騒動	214
三百七十三 交換作物と農民生活	215
三百七十四 換金作物への目覚め	215
三百七十五 殿様時代の衣食住と経済	221
三百七十六 交換作物	225
三百七十七 昭和時代	240
三百七十八 平成時代	247
三百七十九 大洲藩勤王派へ急転	207
三百八十 大洲藩の騒動史	211
三百八十一 藩政時代の百姓の苦悩	211
三百八十二 産業と生活による騒動	214
三百八十三 交換作物と農民生活	215
三百八十四 換金作物への目覚め	215
三百八十五 殿様時代の衣食住と経済	221
三百八十六 交換作物	225
三百八十七 明治時代	227
三百八十八 藩政時代の百姓の苦悩	211
三百八十九 産業と生活による騒動	214
三百九十 交換作物と農民生活	215
三百九十一 換金作物への目覚め	215
三百九十二 殿様時代の衣食住と経済	221
三百九十三 交換作物	225
三百九十四 昭和時代	240
三百九十五 平成時代	247
三百九十六 大洲藩勤王派へ急転	207
三百九十七 大洲藩の騒動史	211
三百九十八 藩政時代の百姓の苦悩	211
三百九十九 産業と生活による騒動	214
四百 交換作物と農民生活	215
四百零一 換金作物への目覚め	215
四百零二 殿様時代の衣食住と経済	221
四百零三 交換作物	225
四百零四 明治時代	227
四百零五 藩政時代の百姓の苦悩	211
四百零六 産業と生活による騒動	214
四百零七 交換作物と農民生活	215
四百零八 換金作物への目覚め	215
四百零九 殿様時代の衣食住と経済	221
四百一十 交換作物	225
四百一十一 昭和時代	240
四百一十二 平成時代	247
四百一十三 大洲藩勤王派へ急転	207
四百一十四 大洲藩の騒動史	211
四百一十五 藩政時代の百姓の苦悩	211
四百一十六 産業と生活による騒動	214

第三編

行政・財政

目次

第一章 行政の変遷	257
第一節 明治維新後の移り変わり	257
第二節 郡区町村編成法と戸長役場	261
第三節 肱川村の誕生まで	266
第四節 河辺村の分立	268
第二章 村 政	277
第一節 河辺村の発足	277
第二節 河辺村行政事務機構	277
第三節 区長制から行政委員会の設置へ	284
第三章 財 政	289
第一節 村の財政	289
第二節 財政再建完了後の財政状況	291
第三節 監査委員	305
第四節 村有財産	305
第四章 厚 生	310
第一節 社会福祉事業	310
第二節 国民年金	327
第三節 住 宅	329
第五章 保健衛生	330
第一節 保健衛生への取り組み	330
第二節 各種疾病	331
第三節 医療施設	333

第四節 環境衛生	340
第五節 医療保険	340
第六章 治安と消防	343
第一節 治安	343
第二節 消防	344
第七章 土 木	349
第一節 道路	349
第二節 橋梁	356
第三節 失業対策事業	357
第四節 砂防堰堤工事	357
第五節 ダム	358
第六節 国土調査	359
第八章 選 挙	360
第一節 選挙制度	360
第二節 河辺村の選挙	362
第三節 選挙の管理	363
第九章 兵 事	364
第一節 徴兵制の実施	364
第二節 郷土の管轄区	364
第三節 郷土の部隊	365
第四節 戦後	366
第十章 広 報	372

第四編

産業・経済

目次

第一章 農 業	375
第一節 産業の状況	375
第二節 農業の近代化と政策	380
第三節 農業経営	384
第四節 農産・畜産の推移	387
第五節 農業関係の組織	394
第二章 林 業	401
第一節 山林の分布	401
第二節 林業の経営	408
第三節 森林組合	412
第四節 狩 猟	414
第三章 商工業・交通運輸	416
第一節 商工業	416
第二節 商工団体	416
第三節 交通運輸	418
第四章 通信・情報	423
第一節 郵便事業	423
第二節 情 報	425

第五編

觀

光

目次

第一章 新しい河辺村の観光	429
第一節 観光の推移	429
第二節 観光資源	430
一 浪漫八橋	430
二 ふるさと公園	433
三 坂本龍馬脱藩の道	434
四 坂本龍馬脱藩之日記念館	434
五 飛翔の像	435
六 歴史民俗資料館	435
七 秋滝龍王神社	435
八 大イチョウ(百合谷)	435
九 三杯谷の滝	436
一〇 用の山の桜	436
一一 飛石橋	436
一二 中居のシラカシ	436
第三節 観光イベント	437
一 かわべふるさと祭り	437

二 わらじで歩く坂本龍馬脱藩の道	438
三 溪流釣り大会	438
四 三杯谷滝祭り	439
五 健康・文化フェスティバル	439
第四節 宿泊施設	441
一 ふるさとの宿	441
二 才谷屋	441
三 いわな荘	441
四 あまごの里	441
第五節 観光団体	442
一 河辺村観光推進協議会	442
二 河辺村坂本龍馬脱藩の道保存会	443
三 株式会社ゆうとびあ河辺	443
第六節 その他	444
一 河辺の特産品	444
二 かわべ栄光の碑	444
三 郷土のうた	446

第六編

教育・宗教・

文化財

目次

第一章 明治以後の教育	451
第一節 教育制度の發達	451
第二節 小学校の沿革	458
第三節 中学校の沿革	468
第四節 幼稚園の沿革	475
第五節 学校給食	476
第六節 教育行政	477
第二章 社会教育	484
第一節 補習教育から青年学校の沿革	484
第二節 公民館	486
第三節 婦人会	493
第四節 青年団	496
第五節 PTA	498
第六節 文化協会	500
第七節 同和教育	500

第三章 神社・寺院	502
第一節 河辺村の宗教	502
第二節 神社	512
第三節 寺院	517
第四章 文化財	522
第一節 県指定文化財	522
第二節 村指定文化財	523
第三節 指定外文化財	526

第七編

民俗

目次

第一章 河辺村の風俗	537
第二章 年中行事	564
第一節 部落的の年中行事	564
第二節 家庭的の年中行事	567
第三章 河辺村の村並み	571
第一節 植松地区	571
第二節 出合地区	574
第四章 伝説	576
庄屋の番生と女中との恋物語(日ノ平)	576
加納院の牛鬼退治(川崎)	578
ゴ-の神様の由来(用の山)	580
赤子湖(下大成)	581
人干しうね(熊の坂)	581
神納の牛鬼岩(神納)	583
木像さんと権現さんとの対話(熊の坂)	584
赤痢の乞食を坂本組中でかい上げる(北平坂本)	585
椽谷の牛鬼退治(椽谷)	587

蛇湖の物語(植松・出合)	590
柿本人麻呂の墓(長崎・日其川境)	591
西明寺(植松)	593
白鬼二匹と金つば二つ	594
かご立て場の物語(植松ツツヤ)	595
長者谷物語(川崎七曲り)	597
ボヤ森の物語(長崎・日其川境)	598
出合の山ん婆さま(植松出合)	599
蛇神様の由来(用の山)	601
石鐘神社の金仏様を添谷へ迎える(大成)	603
弓の名人と四方大夫(日除)	604
神納の美姫に蛇精の恋人(神納)	604
鳴る滝(椽谷)	609
叫び玄六の声と力	612
第五章 地名の起源と解説	614
第六章 方言	618

第八編

人

物

「人物編」について

- ・昭和五三年刊の「河辺村誌」に掲載された人物に加え、河辺村の振興発展に貢献のあった人物を故人に限定し、新刊河辺村誌編纂委員会の選定に基づき記載した。
- ・掲載順序は生年月日順とした。
- ・年齢は満年齢とした。
- ・敬称はすべて省略した。

岩田 滴狭越	関井 善司	松本幸三郎	627
船田 祐太郎	石田 定市	.....	628
石田 小太郎	.....	.....	629
林 直早	本田 常七	.....	630
和氣 多六四郎	立花 穰若	.....	631
岩井 喜左衛	水本 眸	.....	632
中本 光直	山之内 音秀	.....	633
関井 八重	七五三 滴	.....	634
本竜 賢宗	.....	.....	635
五頭 安太郎	古梅 貞道	.....	636
大野 嘉壽馬	.....	.....	637
矢野 清盛	藤田 勘主計	.....	638